

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！

**専門性を活かした
地域づくりによる介護予防**

私は小学校5年生から中学校3年生まで野球やっていた、高校からはバスケットボールをしていました。私も友人もケガをすることがあり、リハビリ治療を受けたことから、理学療法士の仕事を知りました。理学療法士を目指したのも、子供のころから人の役に立ちたいという気持ちからでした。その気持ちは、祖父を看取った経験からの深層心理なのかなと感じています。

最初は、病院勤務で急性期から維持期の患者さんを診ていました。病院勤務が長かったのですが、病院から自宅に帰られる方を支えたいという思いから、訪問リハビリの仕事に就いていました。訪問リハビリの時に、若くして筋萎縮性側索硬化症



介護老人保健施設ロベリア
理学療法士
本間義崇さん

(ALS) という病気になる方に出会いました。この病気は、手足の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなっていく病気です。この方に関わらせていただいた時に、本人や家族の気持ちに寄り添うことの大切さを改めて感じたように思います。そして、今は介護老人保健施設ロベリアのリハビリテーション室で勤務しています。今は、施設の利用者さんはもちろんのこと、日野市内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士のみならず、リハネットという、専門職のネットワーク組織を作り、地域の方々が、いつまでも健康でいられるように、介護予防体操のサポートや相談会などの活動を始めています。

最初は、ご高齢の方を対象に活動を行っていたのですが、最近、親子も参加できる体力測定会に専門職として参加して、幅広く理学療法士などの仕事を



可動域訓練を行う
本間さんの様子

みなさんの安心につながることも実感する場面がありました。専門職も地域へと職域が広がっています。地域に広がっていくことによって、みなさんが健康に豊かに生活が出来ると思います。コロナ禍になり、施設の利用者さんも地域イベントに参加する機会が多く失われました。今、少しずつその状況が、コロナ禍前に戻りつつあります。施設に暮らす方も、地域の方と共に様々な場面で交流し合い、楽しい日々を過ごしてもらいたいと願っています。

そのためにも地域の方との繋がりを自分の専門性を活かして作っていき、地域の方と一緒にみんなが健康で安心できる地域づくりをしていきたいと思えます。

7月の頭から暑くなり、最近は暑さよりも室内と室外の気温差に耐えられないなと感じています。体の体温調節機能が詭ってないかなと不安に思いつつクーラーを付けてしまう...
早く体が暑さに慣れて欲しいなあ (近藤彩来)

おもちゃドクターの会の取材をしました。壊れたおもちゃの診察をして検査をして直す。文字通りドクターです。物を大事にする素敵な活動だと思いました。詳しいことは「ひのう」で検索すると分かります♪ (伊東直樹)

編集後記

定期的に傾聴ボランティアのみなさんとの情報交換会を行っています。いつも本当に優しいお気持ちで、私もとても癒されます。人に寄り添ってお話を聴く力は、こういったお気持ちからなんだろうと実感です (宮崎雅也)

5月永青文庫(細川の名刀)東京都現代美術館(Dior展)と美術品を堪能。6月ひのまちトーク(南平体育館)田植え(十日町松之山)。7月ひのまちトーク第2章(市役所)。8月松之山の夏祭りと道普請。体が足りない! (中村康子)

Volunteer Information 日野

ボランティア
インフォメーション

8

2023年8月号
日野市ボランティアセンター



＼夏本番！／
**思い出したい
夏にしよう！**



トピックス

- P.2 ボランティア募集情報
- P.3 スマホボランティア募集・ふらっとボランティア
- P.4 わくわく夏の工作教室・傾聴ボランティア依頼募集
- P.5 スマホでポン！クリーン大作戦・生活支援員募集
- P.6 スマホ個別相談会・助成金情報
- P.7 ボランティア瓦版
- P.8 まちづくり人コラムリレー